

最終試験 申請書

フリガナ 氏 名		HWIP履修開始年月	西暦 年 月 (期生)
所属研究科 所属専攻		所属研究科での学年	
所属研究室所在地		Eメールアドレス	
指導教員 氏名・役職		指導教員の所属	
主査 氏名・役職 (所属研究科学位審査主査)		主査の所属研究科 所属専攻	
副査 1 氏名・役職 (異なる研究科教員)		副査 1 の所属研究科 所属専攻	
副査 2 氏名・役職 (必須ではない)		副査 2 の所属	

本申請書の提出により、最終試験の審査が開始されます。最終試験合格のための条件を確認するため、以下の全ての項目を記入してください（**まだ満たしていない場合は状況や見通しなどを記入**）。

1	学位論文の題目（英語で書かれた論文の英語題目および日本語題目）	
2	学位論文の主要な構成部分をなしている、国際雑誌に掲載された主論文（著者名、題目、掲載誌名、巻、頁、発表年）	
3	融合研究の成果物 (論文や作品など) ※ 2 と同じでも構わない	
4	予備審査の確認：以下 2 点、「①専門家として学位論文の研究成果を理解し説明できるか、②融合研究の成果を他の研究者にも容易に理解させることができるか」、を重要な基準として評価されることを理解して申請書を作成したか？（要✓）	
5	公聴会の確認：1月下旬ごろに、英語による公開研究発表会を行い、研究内容およびプレゼンテーション能力（特に、分野の異なる研究者にも学位論文の内容と重要性を伝えられるか）を審査されることを理解しているか？（要✓）	
6	GPIスキルが「グローバルリーダーに必要な資質があると認定される」見込みがあることを指導教員と共に確認しているか？（要✓）	
7	TOEICのスコアが730点以上であるか？（要✓）	
※	修了に必要な単位を修得している（見込みも含む）こと、在籍する研究科の学位審査に合格する見込みがあることを指導教員と共に確認しているか？（要✓）	

学位論文における研究の内容

本欄には、学位論文における研究の、背景、目的、方法、結果、考察、結論について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ図表を必ず用いて枠内に収まるように記述してください（フォント等は自由だが、枠を変更してはならない）。

概要 ※学位論文における研究について、簡潔にまとめて記述してください（枠の大きさを変えないこと）。

学位論文の章立て

本文

学位論文における研究の内容（つづき）

融合研究の内容

本欄には、本プログラムにおいて成果が得られた融合研究の、背景、目的、方法、結果、考察、結論について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ図表を必ず用いて枠内に収まるように記述してください（フォント等は自由だが、枠を変更してはならない）。また、研究における自身の役割についてもよくわかるように記述してください。

概要 ※融合研究について、簡潔にまとめて記述してください（枠の大きさを変えないこと）。

本文

融合研究の内容（つづき）**その他研究以外での活動、研究やその他活動により成長した点、博士号取得後の目標**

本欄には、以下の全ての項目について、枠内に収まるように記述してください。図表は使用せず、文章のみにて記述すること。
なお、フォントは自由だが枠を変更してはならない。

- ① 研究以外の活動のうち最も特筆すべきもの
- ② 研究やその他活動全てを含み、博士課程教育の中で学んだことや成長したこと
- ③ 現在考えている、自身が起こすまたは関与する未来のイノベーションについて
- ④ 博士号取得から数年後の自身の目標、および数十年後の目標または自身の未来像